

東京電機大学理工学部 知能機械工学科 創造工学系 Formula SAE Project

2007 Formula SAE オーストラリア大会 参戦報告

設計審査 2位 (国際大会における
日本チーム最高位)
スキッドパッド(旋回性能) 3位



コスト審査 4位
エンデュランス 12位
オートクロス 13位
アクセラレーション 13位
プレゼンテーション 13位
総合成績 14位
(22チーム中)



当チームは、2007年12月13日～16日に、オーストラリア ヴィクトリア州 ヴィクトリア大学のキャンパスで行われた Formula SAE Australasia (オーストラリア大会) に参戦しました。当チームにとって5回目のオーストラリア大会は、Formula SAEの各大会で優勝を飾る強豪ぞろいの、ハイレベルな大会。その中で、2005年、2006年の大会では、スキッドパッド(旋回性能競技)世界一を獲得しました。

今回のオーストラリア遠征では、大会前からエンジンが始動しないというトラブルを抱え、その原因を探り、2日間連続夜通しで作業を続けました。全力で対策を打ったものの、トラブルの解決にはつながらず、エンジンの始動性に不安を抱えたまま大会を迎えることになりました。

今大会は、世界各国から22チームが参加。静的イベントでは、設計審査で国際大会における日本チームの過去最高順位である2位を獲得したほか、コスト審査でも4位を獲得。当チームの高い設計技術、コスト管理能力が評価されました。続く動的イベントでは、トラブルにより最大限のエンジンパワーを得ることが出来なかった中、オートクロス13位。エンデュランスでは、シフト機構のトラブルもあり、途中リタイアするも、地元大学をパスするなど、深い印象を残しました。スキッドパッドでは、雨天というコンディションの中 3年生の平口が初挑戦し3位を獲得。当チームが誇る旋回性能の高さが評価された結果です。

このたび、大会に参戦できる運びとなったのは、皆様のご支援、ご声援があったからに他なりません。これからも、引き続きよろしくお願ひ致します。



今年持ち帰ったトロフィーは設計審査、スキッドパッドの2つ。国際大会での設計審査2位は日本初の快挙。(左)

エンデュランスでは、シフトチェンジ不可の状況ながらも地元ヴィクトリア大学の車両をパス。(中央)